

「トークイン・ 日本の鋼橋を考える」 報告書

Japan Steel Bridge Engineering Association
TECHNICAL REPORT /No.066
平成20年3月



鋼橋技術研究会

はじめに

2007年11月30日、鋼橋技術研究会主催で「トークイン・日本の鋼橋を考える」が開催され、多くの方々に参加いただき、大変貴重な講演と活発なディスカッションがなされました。また、一部には申し込みいただきながら、会場の関係で参加をご辞退いただいた方々もたくさんいらっしゃいました。

本報告書は、鋼橋技術研究会会員はもとより、参加いただけなかった方々をはじめ、関係する多くの方々の今後の業務に役立つよう、当日の内容をなるべく忠実に記録したものです。

当日参加者数

	申込数	出席者数	
		会員	非会員
官公庁・財団・協会等	105	5	95
学校関係	25	18	10
民間企業	193	84	33
合計	323	107	138



目次

1 . 開催趣意書	-----	1
2 . プログラム	-----	3
3 . トークイン報告		
(1) 開会挨拶	藤野 陽三 -----	5
(2) 「アメリカの落橋事故を他山の石として」	依田 照彦 -----	7
(3) 「アメリカの橋梁点検の現状と課題」	高木 千太郎 -----	21
(4) 「木曾川大橋：トラス斜材の腐食による破断」	山田 健太郎 -----	41
(5) 「メンテナンスにおける重要課題」	疲労破壊の制御をどうする？	
	三木 千壽 -----	55
(6) 「橋を守る人と技術」	西川 和廣 -----	75
(7) 「なぜ日本の橋は落ちていないのか？」	リダンダンシーが橋を救う	
	鋼技研特別検討チーム -----	85
(8) 自由討論	-----	103
(9) 閉会挨拶	-----	115
4 . アンケート集計結果	-----	117